

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

平成 24 年 7 月 17 日

派遣者氏名（専門分野）	合山 林太郎	（ 日本文学 ）
-------------	--------	----------

派遣期間	2012 年 3 月 23 日	～	2012 年 5 月 25 日 (5 月 10 日～13 日まで停止)
------	-----------------	---	--

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
中華人民共和国	南京市	南京図書館

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）

概要

南京図書館は、中国国内の公共図書館としては、第 3 位の規模を誇る。古典籍、晩清・民国期の資料なども多数、所蔵している。

ウェブサイトの URL は、<http://www.jslib.org.cn/> であり、交通や利用方法などにつき、詳細な説明が記されている。本マニュアルには、利用にあたっての注意点のみを記す。なお、以下のリンクは、すべて 2012 年 7 月 15 日時点で確認したものである。

開館時間

区画・室によって違いがあるが、概ね午前 8 時から午後 5 時 15 分までがサービス時間。途中、11 時 30 分から午後 2 時まで昼休みがある。

利用カード作成

1 階の総合サービスカウンターで作成。たとえ借出をしない場合でも、2 階の貸出可の中国語図書（「中文図書借閲」と OPAC で表示される本）を閲覧するためには、貸出可能な利用カード（中文借閲証）を作成する必要がある。その場合、保証金 100 元を払わなければならない。

所蔵資料の検索

古典籍も含め、[南京図書館OPAC](#) から検索可能。古典籍を検索する場合は「古籍文献庫」、民国資料を検索する場合は「民国文献庫」のラジオ・ボタンを押し検索する。

所蔵状態によっては（たとえば、分館所蔵の項目に「中文図書老館閉架庫」などが表示される場合）、文献がヒットしても閲覧ができない場合がある。

資料の閲覧・複写

[古典籍](#)（阿片戦争以前の刊行物）については、5 階「古籍閲覧室」において閲覧する。パスポートが必要。明代以前の文献を見る場合、推薦状などが必要になる場合がある。複写は申請していないが、きわめて制約が厳しいということであった。なお、古籍閲覧室入口右側の壁にカード目録があり、文献検索に便利である。

晩清・[民国期の資料](#)は、6 階「民国文献暨地方文献閲覧区」で閲覧する。なお、この区画の開

架資料（地方志、歴史・文学関係の叢書など）については、デジタル・カメラで自由に撮影できる。

1945年以降の刊行物であっても、希少な本、破損が激しい本や保存本（保存に供するための本）については、7階「典蔵文献閲覧」において閲覧する。複写は、申込用紙、しおりで箇所を指定し、図書館員が行う。

同館所蔵の1945年以前に発刊された新聞・雑誌については、[『南京図書館建国前中文報紙目録』](#)（3冊、1982）があるが、この目録に収録されている資料でも、資料の状態がよくないなどの理由で、閲覧が禁じられている場合がある。